

平成 14 年 12 月期第一四半期の業績等の概況

上場会社名 株式会社 ダヴィンチ・アドバイザーズ
(コード番号 4314)

本社所在地 東京都中央区東日本橋二丁目 2 4 番 1 4 号

問合せ先 責任者役職名チーフフィナンシャルオフィサー
氏 名 阿 部 尚 志

T E L (03) 5825 - 1711

1 業 績 (百万円未満は切捨、小数点 1 位未満四捨五入)

(1)平成 14 年 12 月期第一四半期 (平成 14 年 1 月 1 日 ~ 平成 14 年 3 月 31 日) の業績

	14 年 12 月期第一四半期 (当四半期)	対前年同期増減率	13 年 12 月期第一四半期 (前年同四半期)	参 考 前期 (通期)
売 上 高	359 百万円	%	百万円	832 百万円
営 業 利 益	65			434
経 常 利 益	1			374

(2)部門別の売上高内訳

	14 年 12 月期第一四半期 (当四半期)		対前年同期増減率 %	13 年 12 月期第一四半期 (前年同四半期)		参 考 前期 (通期)	
	金 額 百万円	構成比 %		金 額 百万円	構成比 %	金 額 百万円	構成比 %
ア ク イ ジ シ ョ ン フ ィ ー						149	18.0
ア セ ッ ト マ ネ ー ジ ム ン ト フ ィ ー	120	33.6				432	51.9
デ ィ ス ポ ジ シ ョ ン フ ィ ー	5	1.6				109	13.1
そ の 他	233	64.8				141	17.0
合 計	359	100.0				832	100.0

(3)主な資産・負債の変動について

項 目	14 年 12 月期第一四半期	増減額	前期末
(資 産)	百万円	百万円	百万円
現金・預金	2,620	673	1,947
土地	7,115	7,115	
借地権	1,092	1,092	
建物	1,460	1,449	10
(負 債)			
短期借入金	1,220	970	250
長期借入金	9,000	9,000	
テナント保証金	842	842	

- (注) 1.項目ごとの増減額が前期末総資産額の1%を超えるものを記載しております。
2.当四半期に係る数値について、公認会計士又は監査法人の監査を受けておりません。
3.各項目の主な変動要因は、下記のとおりです。

- (1) 現金・預金：増加原因は、大型投資物件のための借入を手当てしましたが、延期されたため一時的に増加したためです。
- (2) 土地・借地権・建物：増加原因は、ファンド組成開始までの数ヶ月間子会社で一時的に所有したためです。
- (3) 短期借入金：増加原因は、ファンド用のコ・インベストメント向け借入れが増加したためです。
- (4) 長期借入金：増加原因は、ファンド組成のための子会社での借入金です。
- (5) テナント保証金：増加原因は、(2)と同様の理由です。

2 業績の概況

当第一四半期連結会計期間におけるわが国経済は、景気回復の柱となる不良債権処理と構造改革については具体的施策に欠き、また全般に実行の遅れは否めず、景気は依然低迷しております。

このような経済環境のもと、当第一四半期連結会計期間は、前年同様に季節的要因からファンドに組み入れる収益不動産の取得が下半期に集中しますので1月から3月はファンド組入れ物件も2物件と少なく今期も例年どおりスタートしました。

各フィーにつきましては、アセットマネジメント・フィー120百万円、ディスポジション・フィー5百万円及びその他フィー233百万円でありました。

前期第一四半期連結会計期間は四半期決算を行っていなかったため、前年同期との比較分析は行っておりません。

3 当期の見通し

季節的要因から例年1月から8月位まではファンドに組入れるオフィス用ビルの動きは鈍く、アクイジションフィー等は、第3・4四半期に集中します。加えて、大型ファンドの組成も6月以降に予定されており、今期業績予想見通しとしては既に発表しています売上1,380百万円(前期比65.8%増) 期利益370百万円(前期比79.6%増)はほぼ予想通りに推移するものと思われま

4 その他

該当事項は、ありません。